

# 生徒心得

本校の生徒は、自主、創造、連帯の精神を校訓とし、常に秩序正しく、生气に満ちた学習活動を中心にして、心身ともに健全で明朗で均衡と信頼のあふれる校風をつくるよう努めたい。

## 1、生活態度一般

- ①うるわしい友情をはぐくみ、有意義な学校生活を送る。
- ②学習においては、家庭学習を怠ることなく授業の準備をし意欲的に学びを知る喜びを味わう。
- ③全職員と全生徒が挨拶を初めとして、相互に積極的にコミュニケーションをはかる。
- ④男女共学により、両性の相互理解・協力・敬愛を学ぶ。
- ⑤学校生活は諸規定を守ることによって、秩序や規律が保たれる。そして教師の指導や助言によって、その内容が高められる。率直な態度で指導を受ける。

## 2、服 装

服装規定を守り、正しく着用することに努める。(服装規定の詳細は後出)

- ①清潔化案のある着用を心がける。
- ②登下校の際は制服を着用する。
- ③制服は変形しない。
- ④パーマ・染色・脱色は禁止する。
- ⑤装飾品・マニキュア・化粧なども禁止する。

## 3、態度・言葉

自他の立場を忘れず、互いに人格を尊重した態度・言葉であるように努める。

- ①誰に対しても、親切・温和であることが望ましい。
- ②教職員や友人に対し、和やかな言葉で挨拶する。
- ③外来者には礼を失しないよう挨拶する。
- ④友人に対して、粗暴な態度、言語は慎む。
- ⑤人の誹謗中傷はしない。
- ⑥暴力に訴えることは絶対に許されない。
- ⑦飲酒・喫煙は禁止。飲酒・喫煙の場に同席しない。

#### 4、校内の心得

学校は人格陶冶の場所であるから、何事にも誠意をもって、積極的かつ協力して助けあう。

①学校の美化に努める。

A 掃除は積極的かつ丁寧に行う。

B 建物・器具に落書、いたずらは絶対にしない。

C 共同で使用する場所は後始末と整頓を心がける。

②欠席・欠課・遅刻・早退はしないように努める。始業は8時40分とする。登校は予鈴（8時35分）までにする。

③登校後は許可なくして校外に出てはならない。

④下校定刻（午後5時）を守る。

⑤下校定刻後、学校にとどまる必要のある生徒は、関係の先生から許可を得る。

⑥携帯電話は、8時35分の予鈴から終礼終了までの間は校内使用禁止とする。ただし、教職員が特別に認めた場合はこの限りではない。

⑦所持品は必ず自分の学年・組・番号・氏名を明記する。

⑧金銭の貸し借りはしない。

⑨金銭・物品を校内で紛失・拾得したときは担任または係の先生に届け出る。

⑩下足ロッカーは施錠し、常に整理・整頓し清潔に保つ。また他人の下足ロッカーをさわらない。

⑪集会や刑事は必ず係の先生を通じて学校の許可を受けなければならない。その場合、とくに諸規定や先生の指導に従う。

⑫休日・祝日は原則として登校しない。

⑬部活動は顧問の指導のもと休日活動計画を元を実施する。

⑭部活動等で休日に登校するときは制服を着用する。

#### 5、校外の心得

特に校外では自分一人の行動が、誇りある本校生徒の名誉にかかわることを自覚する。

①学校への往復に寄り道をしない。

②や何晏の不必要な外出を控える。

③自転車通学を希望する者は、自転車通学許可願を担任に提出し、許可を得なければならない。（特に、金剛駅置き自転車を現金する。）

④自転車通学の許可を受けた者は、ステッカーを所定の場所に取り付ける。また自転車置場に整頓して駐輪する。

⑤単車については、家庭においても「免許はとらない・単車は買わない・単車に乗らない・単車に乗せてもらわない」を守るようにする。

⑥アルバイトは原則として禁止する。やむを得ない場合は、保護者・担任とよく相談し、生徒指導部へ届け出る。

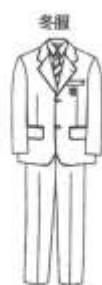
## 6、相 談

- ①友人関係や進路などの問題で悩むことがあれば、家人や担任などの助言を受ける。
- ②心身上の悩みや不安ごとがあれば、相談室や保健室へ相談し助言を受ける。

## 7、服 装 規 定

### ①制服

本校指定の制服（着用モデル）



ジャケット・冬スラックス・冬スカート・  
長袖シャツ（白）・ネクタイ・リボン

※オプション

夏スラックス・夏スカート・半袖シャツ（白）  
長袖色シャツ（サックス・ピンク）  
セーター（グレー・キャメル）  
ベスト（グレー・キャメル）



〔註〕制服採寸に際して、細部にわたる標準寸法を制定しているのでこれに必ず従う。

### ②制服の着用

男女とも、年間を通じて個々の体調及び気候に合わせた本校指定の制服を着用する。

（補足）

- 1、ネクタイ・リボンは夏期（6～9月頃）については着用しなくてもよい。
- 2、式典等に於いては、着用するシャツ男女とも白色とする。
- 3、スラックス・スカート・ネクタイ・リボンについては、男女とも、モデルパターン以外の組み合わせを可とする。

### ③その他

- A 防寒着は華美なものとは避ける。
- B 防寒着はジャケットの上に着用する。
- C 手袋・マフラー・防寒着は室内では着用しない。
- D スカートの下にジャージ・ズボンの着用を禁止する。
- E ソックスは必ず着用する。ただし、華美なものとは避ける。タイツ等も同様とする。
- F 上履きは、所定のスリッパを用いる。